



九月二十日(日)、午後八時、

大崎の夜空を七十五発の花火が彩りました。

三密を避けるため事前告知をせず、
サプライズで実施された花火は

町内事業者の有志で企画、大崎小学校近くの
農道から打ち上げられました。

「みんなを元気にしたいという気持ちから
花火を打ち上げようと決めました。

見た人が喜んでくれて、自分たちも元気をも
らいました」

こう話すのは有志代表の今福和幸さん。

お彼岸の時期ということもあり、
先祖供養の意味も込められています。

新型コロナウイルス感染予防のため
イベントが軒並み中止となった今年の夏。
町民を笑顔にしたいという願いが、
大崎の夜を明るく照らしました